

# 令和元年度 県下中学校柔道大会 実 施 要 項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県中学校体育連盟
- 3 期 日 令和元年6月22日(土)  
※ 審判会議・監督会議 9時00分  
※ 開会式 9時30分
- 4 会場 鹿児島アリーナ武道場
- 5 内 容
  - (1) 団体戦
    - ア 男子1校1チーム=監督1名、選手5名(他に補欠2名)  
※ チームとしての成立は、3名以上とする。  
※ チームの編成は自由配列とし、5名に満たないチームは後詰めとする。  
※ 補欠の変更は、相互入れ替えとする。
    - イ 女子1校1チーム=監督1名、選手3名(他に補欠1名)  
※ チームとしての成立は、2名以上とする。  
※ チームの編成は自由配列とし、2名の場合は先鋒を空ける。  
※ 補欠の変更は、相互入れ替えとする。
  - (2) 個人戦
    - ア 男子無差別 1校1名(団体戦に出場しない学校は、2名までの出場を認める。)
    - イ 女子無差別 1校1名
- 6 参加資格
  - (1) 選手は、平成31年4月2日現在15歳未満で、鹿児島県内の中学校の生徒であること。
  - (2) 初心者への参加については、けが防止のため6ヶ月経過後とする。
  - (3) 転校後6ヶ月未満のものは出場できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合、又は特別な理由がある場合は主催者の認可があればこの限りではない。
  - (4) 2019年度全日本柔道連盟の「団体登録」「競技者登録」「指導者登録」をしていること。
  - (5) 監督は、学校長が認めた指導者であること。
- 7 参加料 団体戦=1チーム5,000円(男子)3,000円(女子)  
個人戦=個人戦のみ出場する選手1,000円  
※ 大会当日「受付」で納入する。
- 8 競技規則
  - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定(2019年)による。
  - (2) 「優勢勝ち」の判定基準  
団体戦=「技有」または、「指導2差」とする。  
個人戦=「技有」または、「指導2差」とする。得点差がない場合は延長戦により勝敗を決する。「技有」以上の得点、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
  - (3) 試合時間は、3分間とする。
  - (4) トーナメント方式による。
  - (5) 団体戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
    - ア 勝ち点による。
    - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
    - ウ 内容も同等のときは、代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。「技有」以上の得点、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
- 9 表彰 第1位から第3位までを表彰する。(第3位決定戦は行わない。)
- 10 参加申込み 令和元年5月9日(木)必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。  
〒892-0853 鹿児島市城山町2-21 公益財団法人鹿児島県柔道会  
柔道会大会申込みメールアドレス [entry@k-judokai.sakura.ne.jp](mailto:entry@k-judokai.sakura.ne.jp)  
※詳しくは、大会申込み方法を熟読すること
- 11 組合せ 主催者において決定する。
- 12 その他
  - (1) 脳震盪対応について
    - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
    - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
  - (3) 選手の参加については、あらかじめ各保護者の承諾を得ること。
  - (4) ゼッケンは、必ず周囲及び対角線にも縫いつけること。
  - (5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
  - (6) 当日は、駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
  - (7) 柔道衣・帯については九州・全国大会では全柔連規格の柔道衣を着用になります。
  - (8) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
  - (9) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。